

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成31年4月18日 (2019.4.18)

【公開番号】特開2017-196191(P2017-196191A)
 【公開日】平成29年11月2日 (2017.11.2)
 【年通号数】公開・登録公報2017-042
 【出願番号】特願2016-89789(P2016-89789)
 【国際特許分類】

A 6 1 B 5/02 (2006.01)

A 6 1 B 5/022 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 B 5/02 3 1 0 K

A 6 1 B 5/02 3 1 0 P

A 6 1 B 5/02 6 3 4 E

【手続補正書】

【提出日】平成31年3月5日 (2019.3.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

一方向に並ぶ複数の圧力検出素子からなる素子列であって前記一方向に直交する方向に配列された複数の素子列を有するセンサ部と、

前記一方向が生体の体表面下の動脈の伸びる方向と交差する状態で前記体表面に前記センサ部を押圧する押圧部と、

前記一方向に伸びる第一の軸の周りに前記センサ部を回転させるための回転機構と、

前記回転機構を駆動する回転駆動部と、

前記回転駆動部を制御して前記センサ部の回転角度を制御する制御部と、を備え、

前記押圧部は、内部に加えられる空気量に応じて前記センサ部を前記体表面に押圧する空気袋から成り、

前記回転機構、前記押圧部、前記センサ部がこの順番で、前記押圧部による押圧方向に配列されている脈波検出装置。

【請求項 2】

請求項 1 記載の脈波検出装置であって、

前記回転機構は、前記第一の軸の周りに前記センサ部を回転させ、かつ、前記押圧部の押圧方向及び前記一方向の各々に直交する方向に伸びる第二の軸の周りに前記センサ部を回転させるための機構である脈波検出装置。

【請求項 3】

一方向に並ぶ複数の圧力検出素子からなる素子列を有するセンサ部と、

前記一方向が生体の体表面下の動脈の伸びる方向と交差する状態で前記体表面に前記センサ部を押圧する押圧部と、

前記押圧部の押圧方向及び前記一方向の各々に直交する方向に伸びる第二の軸の周りに前記センサ部を回転させるための回転機構と、

前記回転機構を駆動する回転駆動部と、

前記回転駆動部を制御して前記センサ部の回転角度を制御する制御部と、を備え、

前記押圧部は、内部に加えられる空気量に応じて前記センサ部を前記体表面に押圧する

空気袋から成り、

前記回転機構、前記押圧部、前記センサ部がこの順番で、前記押圧方向に配列されている脈波検出装置。

【請求項 4】

請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 項記載の脈波検出装置と、

前記センサ部の前記圧力検出素子により検出された脈波に基づいて生体情報を算出する生体情報算出部と、を備える生体情報測定装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

本発明の脈波検出装置は、一方向に並ぶ複数の圧力検出素子からなる素子列であって前記一方向に直交する方向に配列された複数の素子列を有するセンサ部と、前記一方向が生体の体表面下の動脈の伸びる方向と交差する状態で前記体表面に前記センサ部を押圧する押圧部と、前記一方向に伸びる第一の軸の周りに前記センサ部を回転させるための回転機構と、前記回転機構を駆動する回転駆動部と、前記回転駆動部を制御して前記センサ部の回転角度を制御する制御部と、を備え、前記押圧部は、内部に加えられる空気量に応じて前記センサ部を前記体表面に押圧する空気袋から成り、前記回転機構、前記押圧部、前記センサ部がこの順番で、前記押圧部による押圧方向に配列されているものである。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

本発明の脈波検出装置は、一方向に並ぶ複数の圧力検出素子からなる素子列を有するセンサ部と、前記一方向が生体の体表面下の動脈の伸びる方向と交差する状態で前記体表面に前記センサ部を押圧する押圧部と、前記押圧部の押圧方向及び前記一方向の各々に直交する方向に伸びる第二の軸の周りに前記センサ部を回転させるための回転機構と、前記回転機構を駆動する回転駆動部と、前記回転駆動部を制御して前記センサ部の回転角度を制御する制御部と、を備え、前記押圧部は、内部に加えられる空気量に応じて前記センサ部を前記体表面に押圧する空気袋から成り、前記回転機構、前記押圧部、前記センサ部がこの順番で、前記押圧方向に配列されているものである。